

○9月18日（日）開催 第891回例会

市民山の会月例会同調

「初秋の須磨 裏山」コース

須磨支部 長渡喜久雄

台風14号が九州で「猛烈」なり、この近畿地方へ9月18日に接近してきて、朝から風があり、例会の開催が危ぶまれたが、天候は意外と曇り空であったので、参加者は200名近く須磨寺公園に集合した。



須磨寺公園に集合

役員会で風雨の予想から「東山」コースは少し危険性がある意見が出て、安全性を鑑みコースを変更した。須磨寺公園から妙見堂署名所を通り、俗に言われているおらが山から高倉台へのコースを取った。

この須磨寺公園は、明治の中頃、千本の桜が誇る「新吉野」と呼ばれ、明治末期には動物園もあり、戦後に壊されたが、過去に私も近くに住んでいたのので、子供が小さい頃にはプールが残っていてよく連れて行った場所でもある。



綺麗に清掃された道

須磨寺公園を定刻に出発し、まずかつては桜で覆われた道であった桜道を通り、妙見堂署名所を目指した。途中の道は、ほとんどが階段の坂道であったが、いつも妙見堂山の会できれいに整備していて、途中の見晴らし台からは、神戸市街と須磨の海が広がり、遠くには対岸の大阪南部と関西空港が見える絶景の場所である。40分程度で到着し、そこで20分程度休憩をした。



見晴台で休憩



歴史ある妙見堂署名所

妙見堂からおらが山に向けて、細い山腹道15分程で歩くと六甲縦走の道に出る。この山腹道の周囲

は、この春に崖が危ないとの事で、土木事務所で半年に渡り砂防工事が行われ安全な



道になった。眺めも良く、大きな桜の木があるので、来年あたりにこの一画で、旗振支部の桜見を計画したいと思っています。30分程、六甲縦走路を尾根伝いに歩くとおらが山署名所に着いた。ここは山全体が公園として良く整備されており、須磨の海が目の前に飛び込んでくる。ここで参加者の押印をして終着点とした。押印の者が手違いで他で待つ場面もあり、皆様に迷惑をかけたと反省があった。ここで自由解散とした。ほとんどが高倉台のバス停に向かい、本日の例会を締めた。結果的には、台風予報であったが、雨も降らず風も吹かず、当初予定したコースで良かったかもしれないと反省点もある例会であった。